

令和5年度 第1回神栖市生涯学習推進会議 会議録

日 時 令和5年8月25日(金)

午前10時～11時20分

場 所 神栖市役所 分庁舎 大会議室

■出席者

渡邊委員、野口(さ)委員、白鳥委員、野口(豊)委員、羽生委員、野口(壽)委員、
五十嵐委員、松本委員、埴委員(9名)
石田市長
文化スポーツ課 實川課長、加納課長補佐兼社会教育主事、高安主事(3名)

■欠席者

小松崎委員、吉岡委員、小松原委員(3名)

■傍聴者(定員10名)

0人

■会議内容

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 事務局紹介
- 4 案 件

(1) 令和4年度神栖市生涯学習関連事業実施状況

令和4年度の神栖市生涯学習関連事業の実施状況について事務局より説明しました。

【質疑応答】

委 員	施策評価で、AからD区分で自己評価が行われていますが、A区分とB区分の違いについて再度説明をお願いします。
事 務 局	評価が向上した事業が、施策内の事業数の50%を上回った場合がA区分となります。また、B区分は、向上した事業が施策内事業数の50%を上回ってはいないが、向上した事業数に維持した事業を含めた合計の事業数が、低下した評価の事業よりも割合が高い場合となります。
委 員	児童虐待は年々増加し、親が子どもを虐待してる割合が高いという現状があります。1歳児健診などの際に、親に対する虐待防止喚起などをしてほしいと思います。新しいことを行っていないと、状況が改善していかないと考えます。
議 長	新聞等にも記事が出ていますが、個人情報の取り扱いなどもあり、難しい面もあると思います。また、PTAなどの集まりでも、虐待が疑われる方は出席しないという現状もあるのではないかと思います。
事 務 局	文化スポーツ課の家庭教育学級では、年に1度人権に関する講座を実施し、直接的に虐待についての内容ではありませんが、子どもの人権について考えてもらう機会を設けています。議長からもありましたが、伝えたい人は講座等には参加しないという現状もあり、伝えたい人に伝えられないということ

委 員

が実情としてあります。○歳児健診などの際に虐待についての注意喚起してみてはというご提案でしたので、担当課には、その旨伝達したいと思います。

通訳ボランティアの養成という事業が、なり手不足で廃止ということで、確かに自主的になり手を集めるのは困難だとは思いますが、需要もあるのではないかと思っています。先日集団健診の際に、困っている外国人の方がいました。たまたま英語が話せる方が居合わせて、声をかけると、どうやって健康診断を受けたらいいのか分からなくて困っていたということだったので、受け方を英語で説明をしてあげていました。政策企画課の事業としては廃止してしまうかもしれませんが、社会福祉協議会で行っているボランティアの養成講座などで通訳ボランティアの養成も行っていたきたいと思います。また、災害時においても、通訳ボランティアは必ず必要になると思いますので、なり手が不足している大変な状況もあるかとは思いますが、養成していくことをどこかで継続していただきたいと思います。

議 長
事 務 局
議 長

通訳ボランティアの登録者数は把握しているのでしょうか。

担当課等に確認して改めてご報告させていただきます。

外国語を学んでいるという人は多いのではないかと思います、ある程度話せないとボランティアで活動するのは難しいという側面もあるように感じます。そして、外国語を話せるということが表に出づらいことのようにも感じています。

委 員

登録制度のようなものを整備して、外国語を話せる方が、集団健診や児童施設への申し込みの際などに、外国人を支援するようなかたちが取れるといいのではと考えています。

議 長

すぐに回答が難しいかと思いますが、資料等で後ほど回答をお願いします。

委 員

郷土愛の醸成という部分で、文化財の清掃などを地域の方や子どもと一緒にすることで、もっと地域への愛着がわくこともあるのではないかと思います。そういった活動について提案書を提出させていただきます。

議 長
事 務 局

そういった活動をしている文化財関係のものはありますか。

文化財は基本的に所有者が管理しており、現在は、そういった活動をしているところがあるという事実は把握しておりません。また、文化財は取り扱いが難しいものなどもあり、そういった部分も含めて、ご提案いただいた内容を検討していきたいと思います。

議 長

国や県・市町村に文化財に指定されると、手続き等が大変になると聞いたことがあります。いろいろな困難な状況などもあるかとは思いますが、検討していただければと思います。

委 員

子どもが熱中症で亡くなるという残念なニュースが続いていますが、体育館などの使用に関して、全体で話し合いなどの場はあったのでしょうか。

また、公民館講座では、夏休みの宿題などにも関わるような講座等も開催していると思うので、楽しく学べて、なおかつ宿題にも生かせるような講座を継続していただきたいと思います。

それから、企業の方が講師となって実験する授業など、過去にはあったと

事務局

思うのですが、今も継続されているのでしょうか。

公民館の熱中症対策については、月1回の館長会議等でも話し合いの場が設けられているかと思います。また、全館にあるかどうかは確認できておりませんが、最新の熱中症対策用の温度計を設置しております。また、企業の講師の方につきましては、コロナ禍においては、縮小や中止などもあったかとは思いますが、企業の出前講座として実施していただいているところはあるかと思います。

委員

子どもたちの夏休みの過ごし方という話がありましたが、先日地域に不審者がいると相談を受けて、各所に出向いて対応を行いました。地域の安全という部分はとても大切だと思いますので、そこも考えなくてはならないかと思います。

事務局

地域の防犯対策については、会議後に詳細をお伺いさせていただきたいと思います。熱中症対策の部分に戻らせていただきたいのですが、学校を含めて、コミュニティセンターや公民館の体育館、体育室には、冷房機器が設置されているところはほとんどないという現状となっております。当然冷房機器の設置についてはいろいろなところからご意見をいただいておりますので、教育委員会内で、設置について検討しているところかと思いますが、コミュニティセンター関係につきましては、担当課へ熱中症対策について、検討する場を設けるよう伝達をしていきたいと考えております。公民館につきましても、どういった対策をどのようにして決定しているのか改めて内容を確認しまして、とりまとめた内容を委員の皆様へ後日送付させていただきたいと思います。

委員

市民協働課のまちづくり地域サロンの目的が変更となるということでしたが、設立当初の目的がどういった内容で、どのように活用していく考えなのか教えていただきたいです。私も矢田部地域で行われた際に参加したのですが、そこでは笑輪祭というイベントが提案されて、実際にイベントとして運営されています。世代間の交流や地域の活性化を目的に地域サロンで提案され、笑輪祭が開催されているという認識を持っていますが、実際蓋を開けてみると、小・中学生の発表会といった内容となっていて、それが、当初の目的に即しているように感じられず、今後どのようにしていくのかということを担当課へ聞きたいと思います。

事務局

まちづくり地域サロンは地域のさまざまな世代の方に集まっていただき、地域の課題や問題点をテーマに、話し合いをしていただくというものとなっています。笑輪祭についても、矢田部地域のまちづくりサロンで、矢田部小学校の跡地をどう活用していこうかと考えた中で、お祭りを開催しようと決定されたものかと思います。現状として、発表会のようなものになっているということでしたが、当初の目的としては、そういった内容で、イベントを開催することに決定したと伺っています。

委員

当初の目的は分かるのですが、実際に開催している内容をみると、目的が全面に出ていないような気がしています。そして、当初の目的を理解していない人が多くなっていくと取り組み自体衰退をしていってしまうなど感じて

事務局

います。

笑輪祭の目的が不明瞭になってきてしまっているということかと思いますので、その部分について今後どう考えているのかは担当課に確認してみたいと思います。

委員

まず1点目としては、コロナ禍でオンライン講座の開催などいろいろな手法が増えたことはとてもいいことだと思うので、今後もぜひ続けてほしいと思います。2点目は、鳴り物教室が地域での開催へ移行したことで、文化スポーツ課として実施しないということはわかりましたが、過去にいろいろな学校で伝統文化を継承するための教室を開催していると聞いたことがあったのですが、実際は行われているのでしょうか。

事務局

1点目のオンラインについては、新型コロナの影響から導入をしているものが多くありますが、すべてではなくとも、今後も継続して実施したり、併用して活用していきたいと考えております。2点目の鳴り物教室については、文化スポーツ課で実施していた鳴り物教室は終了しましたが、大潮祭の鳴り物は、地域で継承していくことになりました。しかし、大潮祭の鳴り物は市の無形文化財に指定されていることから、これからも伝統文化の保存に努めてまいります。また、各学校等における伝統文化の継承に関する事業はすべてを把握はできておりませんが、実施しているところはあるかと思います。

5 その他

6 閉会

— 午前11時20分 —